ホッピーだより No. 326

平成 24 年 1 月 1 日 (2012/1/1)

クビナガリュウ「ホッピー」

むかわ町立穂別博物館　054-0211　北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6　0145-45-3141
博物館 HP アドレス　http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm

モササウルス国際シンポジウムを開催しました

カウルドウェル（Michael W. Caldwell）教授の講演

小西卓哉先生の講演

総合討論　左から小西先生、
カウルドウェル教授、西村、櫻井

シンポジウムの様子

ホッピーだより No. 324 でお知らせした通りの内容で、モササウルス国際シンポジウムを 12/3 に開催しました。福岡大学の田上響助教、足寄動物化石博物館の澤村寛館長、沼田町化石館の篠原暁館長、京都大学、東京学芸大学、北海道大学の学生や町内外の協力者などの計 62 名がシンポジウムに参加されました。

総合討論では、2009 年に採集された穂別博物館のモササウルス類新規標本について言及し、頭骨の 8 割以上が含まれ、驚くほど変形しておらず保存状態が極めて良いこと。研究面だけでなく、展示資料としても極めて優れていることから、世界に誇れる標本であることを強調されました。予察的に、この標本が国内で見つかっていないグループに属すことも述べられました（小西先生私信）。そして 2 年以内に論文としてまとめるとしてシンポジウムは終了しました。この標本が、新属あるいは新種であるかといった判断が公になるのは、2 年後を目安とした、論文出版時になります。

研究の様子（11/29 ～ 12/2）

標本を基に議論される　小西先生（左）とカゥルドウェル教授（右）

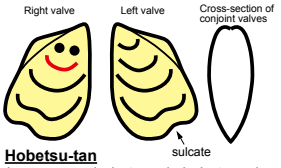
標本の観察とスケッチをされる　小西先生とカゥルドウェル教授

モササウルス類産地・産出層準の説明　西村（左）と小西先生（右）

カゥルドウェル教授とシンポジウムのポスター。穂別市街のあらゆる場所にポスターが貼られていたことにご満悦の様子でした。

カゥルドウェル教授と小西先生は、11/29 に穂別博物館に来られて、標本の観察など研究に必要なデータを収集されました。12/2 までデータを収集し、12/3 にシンポジウムに参加され、12/4 にお帰りになりました。

いのせらたんを代表するキャラ「ほべつたん」のストラップが、その分布域をカナダにまで拡大しました。これに合わせて、いのせらたんの英語版説明を制作しました。翻訳には熊谷太朗氏（京都大学）に協力していただきました。また、ＨＰ内にいのせらたんコーナーを新設し、日本・英語版の説明文や写真を掲載しました。（普及員　西村）



Hobetsu-tan
Inoceramus hobetsensis hobetsensis
Hobetsu, Hokkaido (place name).

１月９日（成人の日）は町民無料入館日です（窓口でお申し出下さい）

［アクセス］【利用案内】

開館時間　9：30~17：00（最終入館 16：30）

入館料　個人 / 小～高校生　100 円
　　大人　300 円
　　団体 / 小～高校生　50 円
　　大人　200 円

※団体は 10 人以上　※小学生未満は無料

［休館日］

2012 年 1 月

1(日)-5(木)(年始休館)
10(火)　11(水)　16(月)
23(月)　30(月)

2012 年 2 月

6(月)　13(月)　20(月)
27(月)